

目標 1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

目標 5 とともに歩み、築く協働のまち

地域協働

- ① 男女共同参画・人権
- ② 市民活動
- ③ 情報

行政運営

- ① 行政運営
- ② 広域連携



地域協働

① 男女共同参画・人権

現状と課題

性別にとらわれることなく、人権を尊重し、喜びや責任を分かち合い、個性と能力を発揮できる豊かな社会の実現が求められています。

市民一人ひとりが、どのような環境にあっても自らの生き方を主体的に選択できるよう、行政はもとより、個人、団体、企業など、それぞれが意識改革を進めながら、環境整備に取り組むことが重要となっています。

基本方針

一人ひとりの人権を尊重し、誰もが個性と能力を発揮できる豊かなまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①男女共同参画の推進	- 男女共同参画意識の啓発 - 男女参画に関する学習機会の充実 - 政策、方針決定過程への女性の登用促進
②家庭、職場、地域社会活動等の両立支援	- 家庭、職場、地域社会での男女共同参画の推進 - ワークライフバランスの推進 - 子育てや介護と仕事が両立できる支援体制の充実 - 女性の活躍推進に向けた啓発
③あらゆる人権侵害の防止	- 相談、支援体制の充実 - 暴力や人権侵害の防止に向けた啓発の促進

関連する個別計画

- 網走市男女共同参画プラン

ワークライフバランス ― 個人のライフスタイルやライフステージに応じた多様な働き方の実現を目指す考え方

地域協働

② 市民活動

現状と課題

ひとの価値観やライフスタイルの変化により、地域でのつながりが希薄化し、支え合いなどの地域力が低下する中、人口減少・少子高齢化の急速な進展と相まって、市民ニーズや地域が抱える課題は複雑化、多様化しています。

市民、団体、企業、行政など、多様な担い手がそれぞれの特性を活かしながら、連携して地域課題の解決に取り組む、地域協働の推進が必要となっていますが、町内会など地域活動団体では、会員の高齢化や担い手不足、人材の育成が課題となっています。

基本方針

市民、団体など多様な担い手が連携を図り、一人ひとりが活躍し、地域課題に取り組むまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①市民意識の醸成	市民活動、協働に関する情報提供の充実
②市民活動の支援	- 町内会への加入促進 - 市民活動を行う団体等の担い手育成の支援
③地域協働の推進	- 地域課題の取り組みに向けた支援 - 地域協働の推進

目標 1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

地域協働

③ 情報

現状と課題

市民と行政の情報共有に努め、開かれた行政を推進するとともに、市民の行政への関心を高める取り組みが重要となっています。

情報の提供にあたっては、市民に伝えるべき情報や市民が必要とする情報の視点に留意しつつ、その手段や時期、内容の充実などを常に改善しながら、わかりやすい情報を的確に提供することが求められています。

情報社会の進展により利便性が向上する一方で、個人情報流出等の問題が懸念されているため、大切な情報を守ることも重要となっています。

行政における計画などの策定にあたっては、関係機関や団体、各分野における有識者のほか、公募による参画を進めるとともに、幅広い市民意見を反映するためのアンケート調査やパブリックコメントの充実が求められています。

さらに、市民と行政の意見交換の場を充実しながら、市民の積極的な市政参加を促進することが必要となっています。

基本方針

開かれた市政と市民の積極的な参画を促進し、ともに築く協働のまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①広報の充実	▪ 広報紙、ウェブなどの内容の充実 ▪ 多様な媒体での情報提供の推進 ▪ 迅速な情報提供の推進 ▪ 情報公開の推進
②市民の参加による広聴 機会の充実	▪ 市長への手紙、みんなの市長室、宅配トーク、住民会議の開催など多様な手法による広聴の充実 ▪ 市民の声を幅広く聴取する機会の充実 ▪ 市民意見公募制度の推進
③情報公開の推進	▪ 情報公開制度の適正かつ円滑な運用
④情報セキュリティの充実	▪ 情報管理の徹底 ▪ 情報の適正な運用 ▪ セキュリティ対策の強化

関連する個別計画

- 網走市行政改革推進計画

行政運営

① 行政運営

現状と課題

人口減少・少子高齢化やグローバル化の進展など、社会経済情勢の大きな変化はライフスタイルの多様化を生み、行政需要はますます多様化・高度化することが予測されます。

一方で、市政運営の根幹である財政は、歳入環境では一般財源総額（自由に使えるお金）が減少傾向にある中、歳出環境では社会保障関係費や公共施設等の維持管理、更新費用の増大が見込まれています。

裁量的な経費が減少し財政運営の硬直化が進む大変厳しい状況下において、より質の高い行政サービスを提供するためには、行政改革の取り組みが欠かせません。

人材の育成に努め、行政組織の体制、行政運営および事務事業の見直しなど、常に改善に取り組みながら、地域の現状を的確に把握し、客観的な課題の分析、検証などにより、施策の取捨選択を進め、新たな課題へ迅速かつ柔軟に取り組むことが求められています。

基本方針

持続可能な財政運営と質の高い行政サービスの提供を目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①財政健全化の推進	- 効率的かつ効果的な財政運営の推進 - ふるさと納税制度など多様な歳入手段の検討、推進
②業務の効率化、サービスの充実	- 社会情勢に応じた組織機構の見直し - 民間活力やノウハウを活用したサービスの推進 - 企業や団体等との公民連携の推進 - 職員の資質向上
③公有財産の適正管理	- 公共施設等の適正管理、配置、除却 - 安全安心な公共施設等の提供 - 遊休地の売却、貸付など有効活用
④効果検証の実施	- 客観的な課題分析、成果検証の推進 - 統計情報の収集・分析

関連する個別計画

- 網走市公共施設等総合管理計画
- 網走市行政改革推進計画

目標 1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

行政運営

② 広域連携

現状と課題

広域行政の取り組みとしては、オホーツク圏活性化期成会、網走地区消防組合、網走地方教育研修センターなどを周辺自治体と組織し、共同で事務事業にあたることで、効率的な行政運営を目指しています。

また、住民の生活環境が密接に関係している大空町とは、一つの圏域として、定住に必要な生活機能である医療、福祉、教育、公共交通などの確保を目指す、定住自立圏構想を推進しています。

人口減少・少子高齢化やグローバル化の進展による社会経済情勢の大きな変化は、JR北海道問題のような、一基礎自治体では解決困難な課題を次々に顕在化させます。

こうした課題に対しては、現状の広域連携の取り組みを強めるとともに、さまざまな形での広域連携を図りながら課題解決に取り組むことが求められています。

基本方針

多様な連携による課題解決に取り組みながら効率的で効果的な行政運営を目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①さまざまな広域連携の推進	▪ 近隣自治体との連携による効率的な事業の推進 ▪ 地域課題を共有した広域での連携した取り組みの推進 ▪ 定住自立圏域での多様な取り組みの推進 ▪ 大学、企業、団体など多様な連携の推進

関連する個別計画

- 網走市大空町定住自立圏共生ビジョン